洞爺湖有珠山ジオパークだより
ジオパーク通信
第96号
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
洞爺湖町役場内
☎（0142）74-3015

洞爺湖有珠山ジオパーク散策マップより「有珠山登山道」紹介

木々に囲まれた登山道

外輪山遊歩道から見える有珠新山

噴火湾沿岸の眺望

有珠山は、人の生活圏に近い山です。学校の遠足や登山会などで、登った経験がある人も多いのではないでしょうか。

有珠山は活火山で、火山ガスや崩落の危険性もあるため、現在、山頂部には特別な許可が無ければ立ち入ることはできませんが、山頂部を取り囲む外輪山や火口原展望台（標高約570㍍）までは、徒歩で登ることができます。

有珠山登山道は、有珠山の南斜面（噴火湾側）から登るルートで、伊達市有珠町に登山口があります。登山口から外輪山展望台まで、距離は約3㌔㍍。ところどころに急な場所があり、森に囲まれた登山道を1時間半程進んで外輪山展望台に到着すると、噴火を繰り返してできた有珠山の山頂部分と、1977～78年の噴火で火口になった「銀沼火口」の壮大なパノラマが広がります。銀沼火口の内側に見えるきれいな縞模様は、かつての噴火で、繰り返し噴出物が積もったことがよく分かる場所です。

有珠山登山の歴史は古く、有珠善光寺の成り立ちが書かれた『蝦夷地大臼山善光寺縁起』（1806年版）には、1666年以前から「回国修行の者は必す来りて堂に詣て山に登る事になれり」とあり、修行として登る人がいたと記録しています。有珠山が、当時から特別な山と考えられ、信仰を集めていたことがうかがえます。

活火山として科学的な研究が進められている有珠山ですが、歴史や文化の側面からも、たくさんの魅力を秘めた山といえるでしょう。

登山道は例年4月末～11月中旬まで利用できます。

引用文献：昭和女子大学大学院生活研究機構研究科紀要Vol.26（2017）
「有珠善光寺関係資料」関口靜雄　宮本花恵

「有珠山登山道」は、『洞爺湖有珠山ジオパーク散策マップ』＜火山編＞で紹介しています

～有珠山登山を楽しむために～

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを携帯し、人との距離は十分にとりましょう。
・登山口で、入山、下山の時刻と氏名を記入しましょう。
・歩きやすい靴を履きましょう。
・防寒具・雨具・飲み物があると安心。
・草木や花・岩石は取らないでください。
・ゴミは必ず持ち帰りましょう。
☆ 帰宅後、しっかりうがい・手洗いをしましょう！

洞爺湖有珠山ジオパークは、北海道伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の４つの市町の取り組みです。さまざまな活動を通して、この地域の大地の魅力を伝えていきます。